



JHFレポート

(社)日本ハンググライディング連盟 発行

1999年 9月号

2000年からのJHF

2000年1月から正式に始まるJHFフライヤー会員登録の準備が進んでいます。少しでもフライヤーの皆さんに便利なシステムを構築していきたいという願いを込めて、いままで郵便局でしか振り込めなかった登録料を、コンビニエンスストアでも振り込

JHFフライヤー会員登録費集金について

める方法を採用することになりました。面倒な振り込みが、エリアの往復や通勤の途中で済ませられることになります。振り込まれた情報は、JHFシステムに電送で届きますので、短い期間で皆さんのお手元に新しいカードをお届けできます。

今後、数万件に及ぶフライヤー会員情報を事務局で管理することになり、この情報に技能証データを合体させて、会員情報を一元管理するシステムを構築中です。事務作業の効率アップを図り、皆さんへ多くのサービスができることを目指しています。

タンデム技能証特別検定会終了

タンデム技能証制度スタートのために、ハング・パラグライディング教員を対象に行われたタンデム技能証特別検定会が終了しました。

6月21日から7月13日まで、全国13ヶ所で開催されたこの特別検定会に、予想をはるかに上回る240名が参加を申込み、ハング・パラ合わせて述べ221名が実際に学科

検定を受けました。検定試験の結果は、これまた予想以上の好成績で、教習検定委員会のメンバーをはじめ関係者はニッコリ。

7月末から、検定会参加者のビデオによる実技検定が始まります。これは、指定されたシチュエーションでタンデムフライトを撮影してもらい、そのビデオを教習検定委員がチェックするというもの。すでにタン

デムの経験を積んでいる教員も多く、実技撮影は余裕でしょう(?)

学科・実技とも合格した教員は、これからタンデム技能証の検定も行います。タンデム技能証を取って、ひと味違うフライトを楽しみたいという方、今回誕生するタンデム教員が、きっと身近なエリアにいるはず。気軽に連絡をしてください。

1999年度教員検定のスケジュール

タンデム技能証特別検定会が終わり、ホっとする間もなく、教習検定委員会は恒例の教員検定に向けて走り始めました。

検定は、学科、教習実技、飛行実技の三つ。すでにどれかに合格している人は、まだ合格していない検定だけ受けることになっています。スケジュールは以下のとおり。

・学科検定...JHFテキストに載っていない内容については研修会を受けてから、試験にのぞみます。茨城県で11月13日の予定。

・教習実技検定...昨年たいへん好評だったグループワークトレーニングが今年も合宿形式で行われることになりました。茨城県で11月10日～12日に開催の予定。

・飛行実技検定...参加者に応じて全国3ヶ所で行われます。10月5日・6日が山形県、10月19日・20日が福岡県、11月8日・9日が茨城県の予定。

検定料は、飛行実技2万円、教習実技2万円、学科5000円です。

助教員の皆さん、今年はぜひ教員技能証にチャレンジしてください。三つの検定すべてを今年中に受けられなくても大丈夫です。受けられるものから始めましょう。

パラ&ハンググライディング世界選手権終わる

7月2日～18日にオーストリアで開催されたパラグライディング世界選手権は、天候に恵まれず2フライトのみ成立。残念ながら世界選手権としては成立せず、新たな世界チャンピオンの誕生を見ることはできませんでした。

半谷貞夫チームリーダー率いる日本チームは快調な出だいで、大いに期待を持たせてくれたのですが.....本当に残念です。次回スペインの世界選手権では毎日バリバリ飛べることを願います。

パラグライディングに続いて7月24日～8月8日にイタリアでハンググライディング世界選手権が開催され、クラス1に6名、クラス2に1名の日本選手が参加。強風にも負けず、世界のトップパイロットを相手に善戦しました。

結果は、クラス1は マンフレッド・ルーマー

(オーストリア)クラス2はクリストフ・クラツナー(ドイツ)が、それぞれ世界チャンピオンに。

ハンググライディング世界選手権の報告は、JHFレポート10月号に掲載の予定です。お楽しみに。



パラグライディング世界選手権表彰式

空のかお

その24



白石 浩二郎(しらいしこうじろう)さん
飛行技術に魅せられ、子供の頃から続けているトンボ採り。今では「平和・トンボ資料館」を開くトンボ博士。自ら空を飛ぶ夢をついにパラグライダーで実現。今日もトンボマークのキャンビーが伊豆の空を舞う!

委員会の動き

PG競技委員会 委員長 岡 良樹

委員会に新しい委員が入りました。田中委員の理事就任、および松原委員の辞任による減員の補充として、清、曽我部の両委員が新しく当競技委員会に加わり、活動していただくことになりました。清委員は長年ポイント計算や大会の案内、昨年からホームページでの情報発信をお願いしており、このたび委員として参加していただけることになり、よりタイムリーな対応が出来るようになりますと期待しています。また曽我部委員は幅広い海外での活躍と、国内での大会のオーガナイズの経験を役立てていただけることと期待しています。

カテゴリー2の大会に関して、この原稿を書いている時点で、尾神岳の日本選手権はFAIの承認がとれ、'99 COO フルーツカップの方の承認を首を長くして待っている状況です。わかり次第ホームページ等でご案内します。参加を考えている選手は速やかにFAI スポーティングライセンスの取得をされるよう準備をしてください。

最後になりましたが、残念な情報が入りました。オーストリアで開催されていた世界選手権が2本のみでの成立のため、世界選手権としては成立せず、チャンピオンが出なかったようです。ホームページにも載っていたように、今年のヨーロッパは異常気象

のようで、そのあおりをもちに、被った格好になってしまいました。今回は1日目に絶好調の滑り出しを見せてくれた日本チームであっただけに、本当に残念です。

HG競技委員会 委員長 大澤 豊

7 / 24 - 8 / 8 に開催されたHG世界選手権(Monte Cucco. Italy)の結果をホームページに掲載しています。

ポイントランキング中間報告の質問やクレームのある方は、競技委員会まで早めにご連絡ください。

また、ルールブックの改定に対するご意見のある方はどしどし、競技委員会までご連絡ください。

ポイントシステム対象大会の後半戦開催スケジュールをお知らせします。

- ・'99HG阿波踊りスカイオープン8 / 12 15
 - ・HG 奥羽ラリー '99 9 / 23 26 (予定)
 - ・'99 デサントバードマンカップ獅子吼大会 10 / 8 - 11 (予定)
 - ・第2回板敷オープン 10 / 22 24 (予定)
 - ・KOKAWA CUP99 11 / 19 23 (予定)
- 尚、事務局にメールをくだされば競技委員会インフォメーションをお送りします。
HG競技委員会事務局 FAX.0299-44-1346
E-mail:haku @tomato.saino.ne.jp
<http://tomato.saino.ne.jp/~haku/JHF-HG.html>

教習検定委員会 委員長 島野 広幸

ダンデム特別検定会 JHF 教員対象 が7月13日終了しました。全国に広くこの技能証の内容を理解していただくため、13ヶ所で検定を行ったのですが、全国の教員と直接話をする事ができ、いろいろな意見を聞きました。これをJHFでの今後の活動に生かせるようにしたいと思います。

特別検定学科試験の平均点は想像以上に高く、スカイスポーツの明るい未来を感じることができました。

補助動力委員会 委員長 山崎 勇光

7月14日(水)大雨の中、第3回補助動力付パラグライディング日本選手権会場となる千葉県富津岬エリアへ現地調査と行政への挨拶まわりを兼ねて出向きました。現地に近づくに従って青空が顔を出し絶好の調査日和となり一同ホッとしました。千葉市から館山自動車、東京からは東京湾アクアラインのアクセスがあるため大変近くなっています。東西に延びる富津岬は、白い砂浜で後ろは松林、海岸線も大変広く、なにより安定した海風がテイクオフを容易にしてくれるでしょう。上空からは海の青、白い砂、松の緑がフライヤーにこちよさを提供してくれるはずですよ。

理 事 会 ダ イ ジ ェ ス ト

7月7日理事会

1999年7月7日(水)13時30分～17時
東京都港区立生涯学習センター 205 学習室
出席：岩間雅彦・川添喜郎・小林朋子・関谷暢人・星野納・松田保子・松永文也・横尾和彦・渡邊敏久各理事、宮川雅博監事
欠席：朝日和博・田中美由喜理事、坂本三津也監事 議長：関谷暢人
スカイレジャー航空無線

スカイレジャー航空無線推進室担当の横尾より報告。1ヶ月以内に、JHFに無線従事者の免許が出る予定。この秋には無線機の貸し出しができるようになるので、運用の決まりを作成中。

JHFレポートへの広告掲載について審議 広報出版局担当の松永・松田が提案し、前回理事会でJHFレポートへの広告掲載が承認された。今回は、具体的な掲載方法の案が松田が出し、継続審議を行った。賛成8で案を可決。JHFの賛助会員は、JHFレポートの賛助会員紹介欄を利用できる。また、有料で広告を掲載できる。

賛助会員の承認について

前回理事会に提出されたが、必要書類の不足のため審議できなかった賛助会員の申し込み2件について。(有)アウトフィールドを賛成8で賛助会員として認める。また、パラグライダー振興懇談会については「指導付きで申し込みを受理する」という案を、

賛成7で可決。

JHFフライヤー会員会費の集金方法について審議

総合改革推進室 DECADE チームの小林から提案。来年1月からJHFのフライヤー会員登録が始まるが、その登録料(フライヤー会員会費)をコンビニエンスストアから送金できるようにする案を、賛成7、反対1で可決。

JASPA 専門委員会メンバー選出について審議

小林より説明あり。JASPA(全国スカイレジャー振興協議会)は、子供の体験用パラグライダーの製作を行うことになっており、専門委員会を設置して事業を進める方針。この専門委員会にJHFからメンバー1名を選出してほしいとのこと。審議の結果、賛成5、反対0、棄権3で、メンバーを選出することを可決。また、人選については、教習検定委員・普及活動にあたっている人のなかから、川添が選出することに決定。

FAI国際ハンググライディング委員会日本代表委員の選出について審議

国際ハンググライディング委員会(CIVL)の正委員に小林理事が推薦され、賛成7、反対0、棄権1で、これを承認。副委員については、田中理事を推薦するという案が出され、賛成7、反対0、棄権1で、これを可決。

'99 補助動力付パラグライディング日本選手権開催地について審議

補助動力委員会担当の星野より、今年の補助動力付パラグライディング日本選手権を千葉県富津で行う案が出され、審議。賛成8でこれを可決。開催日は10月23日・24日の予定。

フライヤー会員会費制度に関する保険業者選定方法について審議

総合改革推進室の会費・保険制度チームから、保険業者の選定について案が出され、賛成8でこれを承認。業者決定は、入札と説明をもらった上で、理事会が行う。

FAIスポーティングライセンス取扱いについて審議

カテゴリー2大会の国内開催にともないスポーティングライセンスの申請が多く出される予定だが、現在、正会員の推薦を受けて申請する場合と、そうでない場合がある。今後は、FAIスポーティングライセンスの申請に正会員推薦印は必要なしとする案が出され、賛成8でこれを可決。

*

「理事会ダイジェスト」は、理事会で話し合われたこと、決まったことのポイントをお知らせしています(審議事項はすべて掲載)。理事会の議事録は各正会員(都道府県連盟)に送られるので、必要な方はそちらをご覧ください。 JHF 広報出版局

県連ニュース

北海道ハンググライディング連盟

JHF主催で毎年開催されていた、バンクライダー無料体験講習会が今年からは北海道スカイスports協会の御力のもと、当連盟の主催で7月11日に滝川の“丸加高原”で開催されました。例年80名ほどの参加者であり、近隣の有志の方々にお手伝い願っているのですが、なにぶんスタッフ不足で、一人で6名ほどの担当しなければならず、結構大変なので、今年は募集期間を短くしたのにも関わらず、60名の応募がありました。前日に雨の予報が出たため、実際の参加者は40名ほどと少なかったのですが、当日は快晴微風の絶好の天気となり、全員が最後に低い丘からフライトでき、参加者スタッフ共に満足の講習会となりました。〔吉野正規〕



天気予報はずれ、絶好のPG体験日和に。

青森県ハンググライディング連盟

「HG奥羽ラリー選手権」大会のご案内
 ・開催期日：9月23日(木)～26日(日)
 ・開催場所：青森県岩木山・秋田県十の瀬山
 ・参加資格：P証以上
 ・参加費用：2万円
 (岩木山ビジター料1000円)
 ・女子の部あり/賞品・特別賞多数
 ・JHF-B級公認ナショナルポイント申請中
 *今年で2回目、二つのエリアを渡り歩くラリー形式の変わった大会です。岩木山と十の瀬山、それぞれのエリア毎に賞品がたくさん！総合オープン3位までは賞金も出ます！連絡先：090-2028-1306 コガワ
 〔古川正司〕

宮城県ハンググライディング連盟

去る6月13日、群馬県丸沼高原スキー場エリアに於いて、私共宮城県連会員の高橋秀和さんがまだ30才と言う若さで、パラグライダーフライト中の事故で亡くなりました。この事故に関しては各報道機関でも取り上げておりましたのでご存知の方も多いと思います。宮城県連では、このたびの事故を単に悲しい出来事で終わらせる事の無いよう、危険と背中合わせの中に置かれていることを前提に、フライトする際フライヤーがあらかじめ肝に銘じておかなければならない事をいろんな角度から考え問題を提議しながら全会員の皆様に周知させて行

こうと考えております。『二度とこのような事故が起こらないように』...この言葉こそが亡き高橋さんへの私共フライヤーからの、せめてもの手向けだろうと考えます。今あらためてここに、高橋さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。〔川越敏明〕

岡山県ハンググライディング連盟

去る7月13日(火)サンワーク総社にて、岡山県ハンググライディング連盟定時総会が開催されました。事前に行われた総会準備に対する回答が無いままに開催日がやってきてしまった事項もあり、課題山積の状態での開催でした。

出席者17名、委任状提出者7名、賛助会員3名という少し寂しい会場でしたが、県連に対する厳しい意見を含めて多くの意見交換がなされました。真剣に取り組んでくださる方だからこそ、何とか県連を健全に運営して欲しい。また、県連の情報をもっと提供して欲しい。という思いが、強く出てきたものと解しました。また、役員内部でも従来から危惧していた事項の追求だけでなく、細かい注文に対しても、とつずつ対応して行きたいという役員サイドの気持ちには、変わりありません。

議題は、98年活動報告、決算報告、99年度活動計画、予算案他でした。残念ながら活動報告については、報告依頼に対する回答が無く、また当日出席予定者の口頭報告を期待していたのですが、欠席されたため、報告のないままに終わってしまいました。

その他、決算報告書の明細内容については、疑問が残され、事後調査の上、会員に通知ということになりました。

予算については、年々の収入不足から、財政が苦しくなりつつあり、緊縮財政を強いざるを得ない状況に追い込まれています。活動母体である役員に対しても、日当とおろか、交通費すら支給できない状況で、活動しています。

執行部の充実と、活動強化、そして活動資金の徴収という観点からも、総会での議決権を持つ正会員の募集を常時受け付けております。積極的に、活動のお手伝いをしてあげるよ。という方、よろしく願いします。

岡山県ハンググライディング連盟は、『フライヤーによるフライヤーのための活動』がなされるべく、がんばっています。

多くの方の知恵をお貸ください。正会員の資格は、F登録有効者で、県連登録済の県内在住者であれば、どなたでも可能です。ぜひとも、活動に参加していただきたいと思っておりますので、よろしく願います。

〔沼田敦子〕

山口県ハンググライディング連盟

去る7月11日(日)に、当連盟の平成11年度総会が行われました。

出席者の一番多い(?)梅雨時期の開催

だったこともあってか、55名が参加。最重要の規約改定もスムーズに決まりました。

閉会後は、フリーフライト・ジャパンの藤原氏によるレスキューパラシュートのリバック実習も行われ、みんな真剣に受講していました。〔江本俊信〕

福岡県ハング・パラグライディング連盟

福岡県連では、各エリアへ「スパインボード」(脊椎用の副子)を配布する事になり、それに伴って、その筋では有名な後藤望氏を講師に迎えて、「スパインボード」の使い方を中心に、救急法のセミナーが、6月13日(日)に開催された。当日は梅雨の中休みで快晴にもかかわらず、各エリアから40名を超える参加者が集まった。福岡県連では定期的に『救急法』のセミナーを行っているが、消防署で行っていただく『救急法』は内容が一般的で、なかなか我々フライヤーには、実践にはそぐわないことも多かったが、さすがに後藤氏はフライヤーであり、岐阜県連の安全担当理事だけあって、内容はフライヤーの事故を想定した実践に即したもので大変役に立った。

講習後、各エリアへ「スパインボード」が贈られた。本来なら、こういう物が役立つ機会がないことを祈りたいが、万が一のために、各エリアでは今回の参加者をリーダーに、皆が使える様に再度講習をお願いしたい。〔越智善治〕



スパインボード講習会。みんな真剣なまなざしだ。

鹿児島県ハング・パラグライディング連盟

鹿児島県連は、活動の一環として、県連レポートを98年7月から毎月発行しております。内容は、13名いる役員からのレポート(クラブ紹介・エリア紹介・思うこと)等、またハング・パラの日本選手権参加者のレポート、九州管内の大会情報、事故報告、県連主催の行事案内と報告等を掲載して、JHFレポートと一緒に会員へ発送しています。〔黒木悦子〕

県連
だより

大分県ハング・パラグライディング連盟

理事長 乙咩 好信

県内には、海辺のリッジのエリアから内陸のサーマルエリアまで数多くのゲレンデがそろっています。まずはゲレンデ紹介をしましょう。

皆さんに良く知られている鶴見岳(標高1,375m)は南の風のエリア。山頂から標高700mの志高湖ランディングまでのフライトの他に、街を飛び越えて海岸線の砂浜まで一気に1300mの高度差を楽しむことも出来ます。最近、東よりの風を利用してクロカンに出ることも多くなってきました。

もう1ヶ所良く知られているのが、伐株山。東から北、西までと幅広い風のレンジに対応できるのが特徴で、山の形はまさに切株の形そのまま。ソアリングを楽しんでトップランディングもラクラク。高速道路の



由布岳エリア

玖珠インターに近く福岡などからたくさんのフライヤーが訪れます。

温泉で有名な湯布院にもゲレンデがあります。町を見下ろす狭霧台(T.O.750m)は、西から北西の風で飛べ、左右の倉木岳(標高1155m)と由布岳(標高1584m)に取り付く事ができ、風との戦いが楽しめます。上級者向けのゲレンデです。フライトの後の露天風呂も楽しみです。

その他に、瀬戸内海を真正面に眺める中津市のそばの八面山(標高659m・北西の風)や、宮崎の県境に近い蒲江町に海岸線を飛ぶ高平エリア(標高350m・南の風)など多くの変化に富んだエリアがあります。

県連で恒例の活動としては、12月の第1週に伐株山で「西日本ハンググランプリ」が行われ、九州・西日本のハングフライヤーがこぞって参加します。また、ゴールドウィークには同じく伐株山でパラグライダー大会が行われます。

5月の下旬には鶴見岳・伐株山を使ってパラの大会「大分パラグライダーグランプリ」が行われます。この大会には、韓国・台湾からもフライヤーが参加し、夜のパーティーではグデングデンになるまで国際交流



別府市扇山エリア

が行われます。

皆さんが訪れるなら、まず事務局のCoCoパラダイスの伊東まで連絡ください。エリア情報やガイドのお世話まで親切に対応いたします。

大分県ハンググライディング連盟

TEL 0975-43-8866



鶴見岳山頂(別府市Xパラグライダーテイクオフ)

JHF 賛助会員事業紹介欄

JHF 賛助会員 No.012 (有) アウトフィールド

クロスカントリー日本版年間購読募集中
詳しくは、JHFレポート同梱のDMをご覧ください!

Cross Country

INTERNATIONAL FREE FLYING MAGAZINE

クロスカントリー日本版編集部

〒336-0015 埼玉県浦和市太田窪2-18-6佐野ビル2F

TEL:048-813-3003 FAX:048-813-3004 e-mail:ccj@sainet.or.jp homepage:http://www.sainet.or.jp/~ccj/

ハロー

パラグライディング その5

パラグライディングの道具

パラグライディングの道具で、機体に次いで大きなものは「ハーネス」です。空中ではこのハーネスにイスのように座ってパラグライダーをあやつります。同じイスでも車のシートは違う点は、ハーネスはそれ自身が操縦装置でもあるということです。パラグライディングでは、キャノピーのブレークコードによる操作に加えて、自分の体重を利用して操縦します。スクールでインストラクターが、「ハイ！右に体重かけて！」などと助言しているのをお聞きになったことがあるかも知れません。ハーネスが力をうまく伝えてくれないと困るので、ハーネス自体の性能と、それをしっかり身体にフィットするよう調整することが大切です。

パラグライディングの経験が長い人達が、「最近のハーネスは大きくなった」と話しているのを聞くことがあるかも知れません。そうなんです、パラグライディング用のハーネスは、はじめから今のような形をしていたわけではありません。機体同様、ハーネスも大変進歩しました。「大きくなった」というのは「サイズ」ではなくて「プロテクター」のことです。10年ほど前、ハーネスはベルトと布を組み合わせて作られたきわめてシンプルなものでした(スクールで聞いたらきっと見せてくれるはずです)。

持ち運びには便利だったのですが、この頃はまだハーネスで身体を守ることは考えられていませんでした。パラグライディングでは着地や、不意の降下でうまく足で降りることができず、背中や腰から打ってしまうことがあります。そのときのけがを少しでも防ごうと、ハーネスの背中やお尻の部分に、衝撃吸収材を入れるようになったのです。衝撃吸収材にもいくつかの種類があり、板状のもの・スポンジ状のもの、そして最近ではエアバッグを使用したものもあります。エアバッグは、前進することで空気が入って膨らむ(キャノピーのように)ので、使わないときは空気を抜いてつぶしておけます。衝撃吸収性能が加えられたことで、ハーネスはいざというとき身体を守ってくれる「安全のための装備」という役割も持つようになりました。

「進歩」という点でいえばベルトの構成や形状も少しずつ工夫され、操作性、取り扱



衝撃吸収材の一例



エアバッグ

エアバッグハーネス お尻と背中の部分に大きなエアバッグが装着されている

いとも向上しています。ハーネスを身につけたら、毎回各ベルトの調整確認をしてください。1度調整しても、ゆるんでしまうこともあるからです。初めて調整するときは、必ずインストラクターにアドバイスしてもらいましょう。せっかく良いハーネスを使っているのに、調整が不十分だと性能が発揮されません。また、衝撃吸収性能についてはあくまで「いざという時のため」として、あまりお世話にならなくても良いようにしたいものです。

注意

パラグライダー、ハーネス、その他の用具を購入する際には、必ず受講するスクールのインストラクターからアドバイスを受けてください。

私たちの
クラブ
です!

PARA BOMBIES
パラボンビーズ

我らパラボンビーズ(略してぱらぼん)は、エコーウインドパレーパラグライダースクールの生徒・卒業生の有志からなる約40名のクラブです。茨城県岩間町にあるスクールのショップには、週末になると常に(晴れでも雨でも)何人かのクラブ員がイントラを冷やかに...じゃなくパラをしに集まります。

これまで、八郷スカイパークを拠点に活動を行ってきましたが、現在諸事情によりエリアが使用できないので、八郷盆地周辺のエリアを管理者のご厚意によってフライトしています。これによって幸か不幸か、他のエリアでは飛べないスクール生達もちょっとしたツアーの気分、フライト条件の良いいろいろなエリアを飛ぶ事ができています。

ぱらぼんの活動としてはパラで飛ぶのは当然として年に数回のフライトツアーやパラを始めたばかりのA級生からベテランパイロットまでが参加してパラグライダーの腕を競い合う大会等を開催したり、毎月何回かのクラブの副会長兼幹事役のヌードルM下によるカレーパーティーや鍋パ-

ティー、そうそう近々ボーリング大会をやったりと和気藹々としています。特に、6月の女装パーティには180cm、100kgの大男の女装、恐ろしい女装など皆、あ然としてしまいました。

とにかく、個性豊かだにぎやかな面々です。例えば、

会長 K娘 (...この人が来ると悪天候になるともっぱら有名

副会長 ヌードルM下 (...企画からまかないまで何でもこなすスーパーパイロット広報 Aんドル (...マイペースなフライトだが、最近ランプの影が...)

会計 Kズちゃん (...『空のおお』にも出た全国的有名人(?)



これが噂の女装パーティー?!



ハイ みんな元気でーす!

Tソン (...フラットに入った日の夜は酒飲んで暴れていた

M西 (...知る人ぞ知る。雨が降ってもショップにいるスクールの主

C葉 (...パラチャレに乗り人気絶好調

T吹 (...今日も愛車のセリカに駆り、パラへ行く

Nわ・Sとう (...小学校の頃からの仲良し、いつも一緒。

Rんこ (...彼氏ができて最近女らしくなった(かどうか...))

N島パパ・ママ (...夏にはおいしいブドウを分けてくれる

マダラン (...最近では2000年問題で忙しい。

.....

とても、とてもここでは書ききれない...。まずは飛びに来て下さい。きっとその日のうちに

みんなと仲良くなってしまおう。そんな楽しい人達がいっぱいいるクラブです。文:

'99 パラグライディング世界選手権

日本チーム参加報告

レポート：日本代表チームリーダー 半谷貞夫

7月3日より18日まで開催された第6回目のパラグライディング世界選手権は、参加国40カ国、参加パイロット245名と過去最大の大会となった。

日本からは、チームリーダー半谷貞夫以下、扇澤 郁、川地正孝、加藤 豪、松原正幸、只野正一郎、蔭山健司、田中美由喜、神山和子、サポート辻 強の合計10名のチームで参加した。(大会直前、蔭山より体調不十分の理由で出場辞退の申し出があり、サポの辻 強がかわりに選手として登録された。蔭山はそのままサポートとして大会に参加。)

大会開催地のオーストリア・ブランベルグは第1回目のパラグライディング世界選手権を開催した KOSSEN から1時間あまりのところでありまた、PWCを開催するジラタルの側の谷合に位置している。WILDKOGEL と呼ばれるスキー場がメインのテイクオフで、標高2,100m。ゴンドラ駅から歩いて5分のところに、広い広いテイクオフがある。地形は簡単なようだが、東西に伸びる大きな谷に、南北の谷が直角に交わり、さらに、南側は3,000mのアルプスの山並が連なるとなれば、地形による風の影響は複雑だ。豪快なフライトができる反面、この複雑な風の変化を読み取りながらフライトしなければならない、テクニカルなエリアといえる。

日本チームの半分は現地地に2週間前から入り、練習フライトを繰り返し、このエリアのほとんどのパイロンをフライト。複雑な風の変化についてもある程度理解できた。日本チームは毎日100kmから最高140km(加藤 豪)をチームでフライトし、日本で練習してきたチームフライトの総仕上げを行うことができた。地元のスクール校長からのアドバイスを受けながらのトレーニングであったが、日本チームのフライトはかなり高く評価された。世界の強豪はこのようなエリアで常にフライトしているのだ。オーストリアも今度の大会では地元開催の利を最大限に活かして総合優勝を狙っている。スイスチームも連続優勝を狙っている。まだチーム優勝をはたしていないなか、「今度こそ優勝を」とフランスチームリーダーのイブ・ゴスランが優勝を狙えるチームを選抜している。日本チームとして、この強豪に伍していくためには2週間といえども決して長くはない期間だ。



パレードする日本代表選手団

大会の経過

7月2日：レジストレーション。チーム全員写真を撮ってもらい身分証明カードを受け取る。この日の天候は最高で、雲底3,000mにつけた各国選手が快調にフライトしている。

7月3日：夜7時開会式。ブランベルグの町外れで選手集合し、国旗を持ったパレード。沿道には近隣の町からきた見物客があふれ、選手に声援を送る。中央広場にて開会式が行われ、夜10時まで続いた。

7月4日：天気快晴。今日一日コンディション最高の予想。

タスクはRACE TO GOAL.107 km。選手はウインドオープン12時にほとんどいっせいにスタート。まだ、渋いサーマルの中、245名がひしめき合う状態。テイクオフからいったん右の20番パイロンを取ってから、左の長い稜線を8番パイロン目指していく。

川地、扇澤が先頭グループで先行する。第2集団、第3集団の中を加藤豪、只野正一郎、松原正幸が続き、遅れて辻、田中、後ろに神山が続いた。この日、先頭集団が8番パイロンを取って折り返したところより南風が強くなり始め、サンダーストームの発達も心配される。雲底高度も予想より高くなり3,600m。

地上サポートは2班に分かれ、フライトしている選手に先行しているパイロットの状況やサーマル情報を逐次連絡、一方でフライト中の選手からも地上サポート班に対して、状況を次々に無線で聞いてくる。各自ヘルメットに埋め込んだ無線マイクを使って途切れることなく情報が飛び交う。まさに総力戦である。世界選手権はいつもの大会とはまったく趣が異なるのは、このように国が総力をあげて闘うことだ。もちろん、日本だけではなく各国のサポートは選手へ情報を与えるべく車で忙しく走りまわり、空中とは違うバトルを地上で展開しているのだ。

この日、オーストリアのクリスチャン・ハインリッヒが一入リスクを負いながらも低く先行し、先頭グループに10分の差をつけ先を走る。その後川地、扇澤が続き、ゴールに2位3位で入るのではないかと地上サポートの期待が高まるが、2選手がゴールにたどり着くころには南風の強風となってランディングは荒れに荒れ、川地は3番目でゴール上空に来たにもかかわらず、高度が高く高度処理の合間にハンス・ボーリンガー、ティボール・ベルキ、扇澤郁に追い抜かれ6位に。しかし、この日5位6位を日本勢が占めた。

遅れて加藤豪、只野正一郎、辻 強がめっちゃめっちゃな風の中ゴールを切る。このころ場所によってはサンダーストームが発生し、特に8番パイロンへ遅れて行った選手



すばらしいロケーションのテイクオフ

は、時速50kmほどの南の強風につかまり、極めて危険な状況に遭遇することとなった。田中も8番パイロンの帰りにこの風につかまり、時速20kmでバック!。やっとの思いで無事ランディングした。ツリラン、クラッシュの選手も多く出た。

7月5日：南の強風(フェーン)キャンセル。

この日のチームリーダーミーティングは、前日の危険な状況について紛糾し、キャンセルすべきという意見と、成立しているという意見が衝突。決定は延期された。

7月6日：南の強風、キャンセル。

7月7日より16日までは、低気圧がオーストリア上空に滞らし、毎日雨。山はガスに包まれている。しかし、11日から毎日選手はテイクオフにあるレストラン内に集合。雨の中一縷の可能性をもとめて主催者は夕方までウエイティングを行う。

7月17日：大会最終日。16日と同じ47kmのタスク。この日も扇澤、川地は絶好調で、先頭集団の前を2人で突っ走る。が、ゴール目指してリスクを背負い、なんとしてもワンツーフィニッシュをと狙ったのが仇となってしまった。ゴール手前に無念のランディング。他の選手は全員がゴール..

総合順位

- | | |
|------------------|--------|
| 1. クリスチャン・ヘインリッヒ | オーストリア |
| 2. クリス・ミュラー | カナダ |
| 3. ウォルター・ホルツミュラー | オーストリア |
| 4. ハンス・ボーリンガー | スイス |
| 4. ジョー・セイ・ヤン | 韓国 |
| 6. ジミー・パーシャー | イタリア |
| 7. ゲンズ・ポドー | ドイツ |
| 8. スティーブ・コックス | スイス |
| 25. 加藤 豪 | 日本 |
| 27. 辻 強 | 日本 |
| 29. 只野正一郎 | 日本 |
| 45. 扇澤 郁 | 日本 |
| 46. 川地正孝 | 日本 |
| 64. 松原正幸 | 日本 |
| 67. 神山和子 | 日本 |
| 74. 田中美由喜 | 日本 |

国別順位

1. オーストリア
2. スイス
3. ドイツ

規定によれば世界選手権者を決定するには4本の成立タスクが必要なため、結局世界選手権としては不成立となった。大会の優勝者は、1本目で断然トップのオーストリアのクリスチャン・ハインリッヒ。国別トップもオーストリア。日本は残念ながら4位と表彰台に後1歩で届かなかった。

大会開催予定(1999年7月25日現在)

PS: ポイントシステム対象(ポイントシステム対象、公認については申請中を含む。) 参加資格 XC: クロスカントリー証 P: パイロット証 NP: ノービスパイロット証 B: B級練習生参加可 会員: 都道府県連盟に属する者



区分	大会名	日程	開催地	参加資格	参加費	締切
公認	'99 Cooフルーツカップ	10/9~11	エアパークCoo	XC	20,000円	9/30
PS	〒315-0157 茨城県新治郡八郷町上曾1698-1 エアパークCoo 大会実行委員会 TEL 0299-44-1408					
公認	'99 SPS パラグライダー大会in OSA	10/2・3	大佐山フライトエリア	P	12,000円	9/15
SPS	〒719-3503 岡山県阿哲郡大佐町小阪部2240-1 SET 大佐山スカイスポーツスクール TEL 0867-98-3400					
公認	しらたかパラグライダーカップ	10/3・4	山形県白鷹スキー場	XC	12,000円	10/12
PS	〒999-31 山形県上山市三本松126-19 実行委員会 TEL 023-672-6206					
公認	第3回補助動力付パラグライディング日本選手権大会	10/23・24	千葉県富津市富津岬エリア	補助動力・他	30,000円	10/9
PS	〒105-0004 東京都港区新橋2-5-6 大村ビル4階 (社)日本ハンググライディング連盟 TEL 03-3592-2651					
公認	'99 阿波の国 四国三郎パラグライダー大会	10/30・31	徳島県四国HGサイト	XC	18,000円	10/15
PS	〒790-0915 愛媛県松山市松末1-10-29 スカイスポーツコスモス TEL 089-975-4766					



公認	ハンググライダー・奥羽ラリー'99	9/23~26	秋田県十ノ瀬山 他	P	20,000円	9/10
PS	小松園悦 TEL 0186-48-2819					
公認	'99 十分一ゴールドカップ	10/10・11	南陽スカイパーク	未定	未定	未定
PS	佐藤信博 FAX 0238-43-2927					
公認	第16回あぶくま洞オープンカップ ハンググライディング大会	10/30・31	仙台平エリア	未定	未定	未定
PS	佐藤香邦 FAX 0245-22-0922					

検定会開催予定(1999年7月25日現在)

PGP: PGパイロット学科 PGNP: PGノービスパイロット学科 HGP: HGパイロット学科
XC: PG&HG クロスカントリー学科 補助: 補助動力学科 (いずれも数字は定員)

開催日	時間	開催地	会場	PGP	PGNP	HGP	XC	補助	主催者	電話番号
9/4(土)	18:00~21:30	岡山県倉敷市唐琴	国民宿舎王子が岳会議室	8	8				岡山県PGフライト協会	086-226-1269
9/5(日)	13:00~14:30	岐阜県恵那郡付知町字武佐原	FIELD-KIDS 付知スクール	20	20		20		FIELD-KIDS PGS	0562-83-3659
9/7(火)	17:00~20:30	神奈川県横浜市戸塚区川上町	東戸塚地区センター会議室	10	10	5	5	3	ヨコハマスカイスポーツ	0460-3-6958
9/11(土)	15:00~17:00	長野県北安曇郡白馬村北城	白馬岩岳 EL'S PGS	10	20		5		EL'S PGS	0261-72-6022
9/26(日)	9:00~12:00	熊本県阿蘇郡阿蘇町	阿蘇ネイチャーランド	10	10		10		阿蘇ネイチャーランド	0967-32-4196
10/3(日)	18:00~20:00	神奈川県横浜市神奈川区	神奈川県民センター会議室	15	15	15	15	1	神奈川県連盟	0460-3-5391
10/11(月)	15:00~20:00	群馬県群馬郡榛名町中室田	ハルナパラグライディングスクール	10	10		5		榛名町 PGS	0422-53-6226
10/16(土)	16:00~18:00	山梨県南都留郡河口湖町大石	富士五湖 PG スクール	10	10		10		(株)オーパルスキー	0555-76-7771
10/23(土)	14:00~17:00	岡山県阿哲郡大佐町小阪部	S.E.T. 大佐山講義室		20				S.E.T. 大佐山 SS	0867-98-3400
10/31(日)	9:00~12:00	熊本県阿蘇郡阿蘇町	阿蘇ネイチャーランド	10	10		10		阿蘇ネイチャーランド	0967-32-4196
10/31(日)	10:00~16:00	福井県勝山市170-70 スキージャム勝山内	スキージャムエリアル/方サザ 尾工管理室	10	10				ディクロス PGS	0776-23-4411
11/9(火)	17:00~20:30	神奈川県横浜市戸塚区川上町	東戸塚地区センター会議室	10	10	5	5	3	ヨコハマスカイスポーツ	0460-3-6958
11/13(土)	14:00~17:00	岡山県阿哲郡大佐町小阪部	S.E.T. 大佐山講義室	20					S.E.T. 大佐山 SS	0867-98-3400
11/20(土)	14:00~17:00	岡山県阿哲郡大佐町小阪部	S.E.T. 大佐山講義室				10		S.E.T. 大佐山 SS	0867-98-3400
11/28(日)	9:00~12:00	熊本県阿蘇郡阿蘇町	阿蘇ネイチャーランド	10	10		10		阿蘇ネイチャーランド	0967-32-4196

日本ハンググライディング安全性委員会(JHSC) 議事録

日時: 1999年6月17日(木) 13時~17時
 場所: 航空会館6階602会議室
 出席者: (委員) 斉藤紀、岡良樹、下山進、泉秀樹、幸路尚文
 委任状 阿部郁重
 (機体登録申請者) ファルホークインターナショナル有限会社

技術部会(型式登録審査)
 パラグライダー・新規登録
 ・DAE KYO式EDEL PRIME型(合格:PI-722)
 定例委員会
 ・タンデム機の機体検査要領について
 岡委員から提出された原案を修正なしで

承認、具体的な運用法の検討に入ることに決定。
 ・文書配布について
 安全対策部会がまとめた事故統計資料を、タンデム技能証特別研修会の受講者に配布することに決定。

事務局から

技能証、やっと申請しました!
 暑い夏、やっと検定に合格。申請をスクール(教員)にしました。さあ、いつ来るのかなあ。- オット、貴方の技能証は「ご自宅へ直送」ですか「スクールで受け取るのですか」ご確認をお願いします。申請書を記入したときに、住所シールに自分の住所を書いていれば「ご自宅に」、何も書かなければ「スクールに」送付されます。

訂正

JHFレポート8月号の4ページなんでもQ&A カテゴリー2つて何?」の記事中に誤りがありました。以下のように訂正し、おわび申し上げます。
 左例の一番下の行
 誤 4本以上の競技フライトが.....
 正 2本以上の競技フライトが.....
 中央列の3行目
 誤 100名までしか参加できません。
 正 人数制限はありません。

広報出版局から

求む、サポーター!
 広報出版局のメンバーは現在2名。JHFレポートの編集をはじめ、さまざまな仕事があるのですが、どう頑張っても人出不足で作業が遅れがち。そこで、皆さんにお願いです。どなたか広報出版局を手伝ってください。できれば東京近郊にお住まいの方。インターネットや編集に興味のある人、大歓迎です。まずはJHF事務局にご連絡ください。お待ちしております。

理事からひとこと

会長 川添 喜郎

梅雨明けが間近か。或る試乗会で久し振りに飛びました。どんより雲底低く、湿った風はいかにも梅雨空そのもの。ぬったり飛ぶのもまた格別。わずかな上げをひろい熱中していると、左側をタンデム機に同乗した娘さんが喜々と通り過ぎて行きます。見上げればトンビが輪を描き、下の観光直売所からはお客さんが見上げて手を振っています。手を振り応えると子供達がオーイと叫んでいます。パラグライダーが飛び手も見物者も無垢な心してくれる瞬間、身体中を エンドルフィンが馳け巡るのを感じます。こんな素適なスポーツをもっと多くの人々に味わって欲しいと思います。

6月総会が終わって約ひと月。PG・HG各世界選手権、タンデム技能証検定会、日本選手権の準備、F登録移管準備、文部省への定款変更手続き等々、多くの事業が各部署で着実に進行しています。少ない予算の中担当者の熱意でJHFが活発に動いているのを思う時、頭が下がると同時に自分も更に頑張らねば、と勇気づけられます。

スクール関係者と話をしましたら夏に向けて少しずつ予約が入り始めたとの事。夏から秋にかけて新しい仲間づくりに教員の皆さんの暑～い奮闘を心から応援したいと思います。また、フライヤー諸氏の楽しい仲間づくり、フライトづくりが新しい仲間の定着につながるものと思います。

副会長 小林 朋子

引き続き DECADE(データ管理システム)の構築に多くの時間を使っています。システムの構築というのは、最初どのような内容にするか検討することに時間をかけ、実際にプログラムを書く時点では詳細まで決定していなければなりません。出力する帳票のレイアウトや作業手順も含まれます。今年11月には更新のお知らせを発送するわけですから、遅くとも8月末には内容を決定しなければならず、ちょっと焦ってしまいます。

でも、世界で一つのオリジナルシステムの構築に深くかかわる立場にいられることに感謝して、完成目指して頑張ります。少しでも皆さんにとって役に立てるシステムとなるよう、これからもアイデアを出していきたいと思います。

少しでもコストダウンを図るため、電卓をたたく日々が続いています。

常任理事 朝日 和博

夏の盛り、海や山にレジャーに出かける人が多くなる時期です。その中で、パラグライダーやハングライダーは憧れのスポーツとして人々の眼に映ることと思います。その時、もしも一人のフライヤーが、一般の人に危険を感じるようなフライトをした場合にどうなるでしょうか。「あれは危ないものだから、なるべく遠ざかっていたほうがよい。」と思うでしょう。最悪、事故などが発生した場合、「やっぱり危ないものなんだ。」となってしまいかもしれません。

なによりも安全に、そして見ている人にも危険を感じさせないよう、楽しくフライトをする。これによって一般の人々にもよい印象を与え、フライヤー自身が長くこのスポーツを楽しめる事につながるのです。

常任理事 関谷 暢人

このJHFレポートの巻末に「技能証発行数が記載されているが、分析すると時々面白い現象になっていることがある。

この4月から6月までのデーターを算出し、昨年との比較をしてみると、パラグライダーの部において、P証の発行前年対比は110%、同じくNP証は86%、B級は105%、A級は103%になっている。ちまたでは新規入校者が減少しているよく聞く。このデーターを見る限りでは、そうでもないようであるが。

一方、JAAフライヤー登録数の同じ係数は88%と減少していた。特に新規の登録者数が80%と20%の減少傾向であり、JHFデーターとは異なる現象を示していた。いずれにせよ、一人でも多くの愛好者を増やしたいものである。

常任理事 横尾 和彦

事務局では、多くの方からお電話を頂きます。スクール関係者、教員の方、一般のフライヤーの方、報道関係、雑誌等取材関係、各種官庁等行政機関、etc.一般的な問い合わせから、JHFに対する苦情までさまざまです。

もちろん事務局は「JHF・技能証規定に

基づいて」、「誰にでも平等に」お答えしますが、お答えする際に注意をしますのは、その方がどのような目的、経験、背景でお電話をなさっているのかということです。その点をよく確認しませんとお気持ちに答えられないことになり、「JHFに電話したけど……」となる訳です。反省すること枚挙に暇がありません。

1999年の夏の風は、フライヤーの皆様にはどんな思い出を残しましたでしょうか。秋も楽しく飛んでください。

理事 岩間 雅彦

6月から7月にかけて全国で行われたタンデム技能証特別検定会が無事終了しました。200名を超える教員の方たちが受講され、学科検定を受けられました。どの会場でも技能証の検定方法や保険についての熱心な質問が相次いで寄せられ、また学科試験の成績も非常に良く、検定会を担当した委員一同ほっと胸をなでおろしています。今後はビデオによる実技検定を行い、9月ころにはタンデム技能証検定員が誕生する予定です。

理事 松田 保子

残暑お見舞い申し上げます。皆さん、夏の空を満喫していますか。暑い時は水辺のエリアに出かけることも多いと思います。くれぐれ水にはまることのないように、注意してください。潮の動き、水流の強さ、冷たい水温……危険な要素がたくさん。浅いところだからと油断してはいけません。みんな無事故で、秋の風も目いっぱい楽しめますように。

最近のJHFレポート、いかがですか。あまりカチカチの内容ばかりにならないように、初心者にも読みやすいように心がけていますが、連盟公報として載せるべき情報もたくさんあるので、毎月悩みます。JHFレポートへのご意見・ご要望、ぜひお知らせください。今後の参考にさせていただきます。

JHF ホームページもご覧ください。 <http://jhf.skysports.or.jp/>

ハン グ グ ラ イ デ ィ ン グ		P 証		P 証	
	P証	4,799		P証	17,797
	C証	6,728		NP証	8,210
	B証	11,271		補助動力NP証	63
	A証	10,676		B証	38,931
	補助動力証	124		補助動力B証	121
	XC証	1,077		A証	41,923
				補助動力A証	146
				補助動力証	880
				XC証	3,351

<p>JHF レポート 9月号 (No.152)</p> <p>発行日 1999年8月20日 定価 10円</p> <p>発行 (社)日本ハンググライディング連盟 〒105-0004 東京都港区新橋2-5-6 大村ビル4F TEL.03-3592-2651 FAX.03-3597-0245</p> <p>編集 JHF 企画部広報出版局</p> <p>印刷 日本印刷(株)</p> <p>この印刷物は再生紙を使用しています。</p>	
---	--